

[報告]

サイバーサイエンスセンターオープンキャンパス報告

小松 一彦

スーパーコンピューティング研究部

今年も7月25日と26日の2日間に渡り東北大学オープンキャンパスが開催されました。進学を考えている学生だけでなく、東北大学の研究や活動に興味・関心を持っている一般の方々や学生に向けて、年に1回開催されております。サイバーサイエンスセンターでは、大規模科学技術計算を支える最新型スーパーコンピュータ、計算結果を分かりやすく可視化する三次元可視化システム、東北の大学ネットワークを支えるネットワーク機器、大規模計算機の歴史的資料を展示しているコンピュータ博物館を一般に公開しました。また、ネットワーク研究部、スーパーコンピューティング研究部、先端情報技術研究部の最新の研究成果を展示しました。

津波被害予測、熱中症予測など防災・減災を支えるスーパーコンピュータや、大学のインフラを支えるネットワークへの関心も高く、1200人以上の方々にご来場いただきました。計算機専用サイバーサイエンスセンター2号館に導入されたスーパーコンピュータSX-ACEを見学し、写真撮影などを通じてスーパーコンピュータを身近に感じていただけたと思います。また、50インチモニター12面からなる可視化システムでは、スーパーコンピュータでの計算結果の三次元立体視を体験していただきました。さらに可視化システムを活用した模擬授業は、立ち見も出る程の人気でみなさん最後まで熱心に聞き入っていました。その他、コンピュータ博物館での歴史的価値の高いスーパーコンピュータやネットワーク機器、資料などの見学を通じて、スーパーコンピュータやネットワークが実生活にどのように役立っているのかを感じてもらえたと思います。研究開発部の展示では、情報セキュリティ・スーパーコンピュータ・サイバー医療に関する研究活動だけでなく、大学生活や大学での講義などについても大学教職員や大学生達と交流しておりました。来年度のオープンキャンパスも一般に公開する予定です。みなさまのお越しを心よりお待ちしております。

